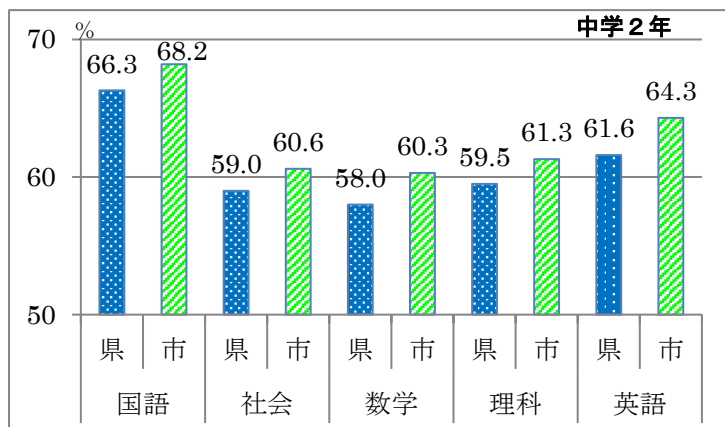


## 令和３年度千葉市学力状況調査結果概要（中学校版）

### １ 県と本市の平均得点との比較



#### 【県平均を上回るものの下降傾向】

中学校２年では、国語 1.9 点、社会 1.6 点、数学 2.3 点、理科 1.8 点、英語 2.7 点と、全教科で市平均得点が県平均得点を上回っている。令和２年度と比較すると県平均との差が小さくなっており、下降傾向にあるといえる。

### ２ 各教科の改善策

#### 【国語】 生徒に身に付けさせたい力を明確にした適切な言語活動の設定

- 様々な種類の文章に触れる際に、表現の効果や描写の工夫、そして言葉の豊かさに気付かせ、考える機会を設定し、自分の思いや考えを書く場面において生かす言語活動を工夫する。
- 古文において、声に出して読む活動を通して、古語と現代語との比較をし、意味を考え、古文の特徴に気付くことで、関心をもたせるなどのような言語活動を設定する。

#### 【社会】 知識・技能を生かした思考力・判断力・表現力の育成

- 歴史的分野において、単元内に様々な資料を意図的に位置付け、資料から歴史的事象のもつ意味や歴史的背景と関連付けて、課題を追究・解決できるようにする。
- 地理・歴史的分野全般において、ＩＣＴを効果的に活用し、学び方などの学習方法を充実させ、既習の社会的事象を他分野と関連付けたり、組み合わせたりすることで深い理解につなげる。

#### 【数学】 主体的に取り組む数学的活動のより一層の充実

- 一次関数の特徴を表、式、グラフと関連付けて表現する数学的活動を重視する。また、値の変化についても表、式、グラフを用いて考えることで、問題に応じて解決方法を判断し、選択できるようにする。
- 事象の数や数量に着目して、積極的に文字を使って数量を表すとともに、文字式の意味について考える活動を設定する。また、形、大きさ、位置関係に着目して、図形の性質や面積等の公式を文字で表し、その式を変形させたり、活用したりしながら課題解決ができるようにする。

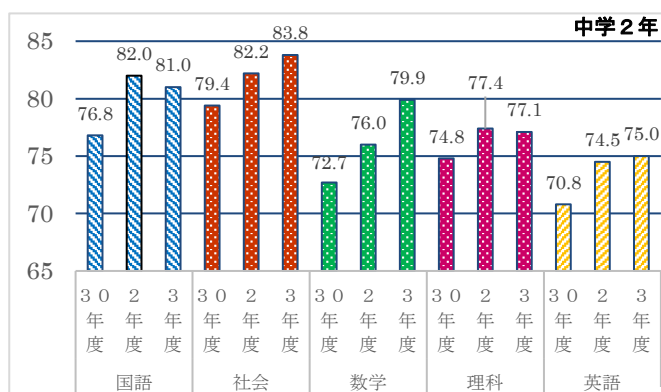
#### 【理科】 目的意識をもった観察・実験、根拠を基にした思考・表現

- 観察・実験では、目的意識を十分にもたせ、根拠のある予想を立てたり、誤操作等による危険性や問題点を挙げたりして、見通しをもって取り組ませる学習活動を設定する。
- 結果の分析・解釈・活用において、科学的な根拠に基づいて考察する活動や現象等をモデル化して考え、話し合い、表現する活動及び身に付けた知識や考え方を活用する活動を取り入れる。

## 【英語】 「書くこと」、「話すこと」における適切な場面の設定

- 「書くこと」において、自分の考えや気持ちなどを話したり書いたりさせることや、書く必然性のある場面を設定し、書く目的をはっきりとめとせることなどを通して、場面に合わせて正しく言語材料が使えるようにする。
- 「話すこと」において、相手に「話したい」という話題を選び、相手の言ったことに反応しながら会話を続けるやり取りを積み重ねる中で、事実や思いを伝え合う技能を高められるようにする。

## 3 学習に対する意識（学校の勉強がわかる）



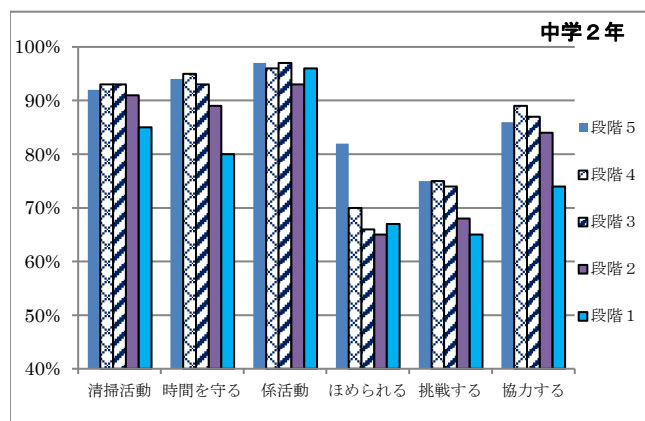
全教科で、「学校の勉強がわかる」という肯定的回答率(※)が75%以上と上昇傾向である

前年度（令和2年度）と比べて、社会は1.6ポイント、数学は3.9ポイント、英語は、0.5ポイント数値が上回っている。一方、国語は1.0ポイント、理科は0.3ポイント、昨年度を下回っている。

※肯定的回答率とは、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率

## 4 学力と学校生活との関連

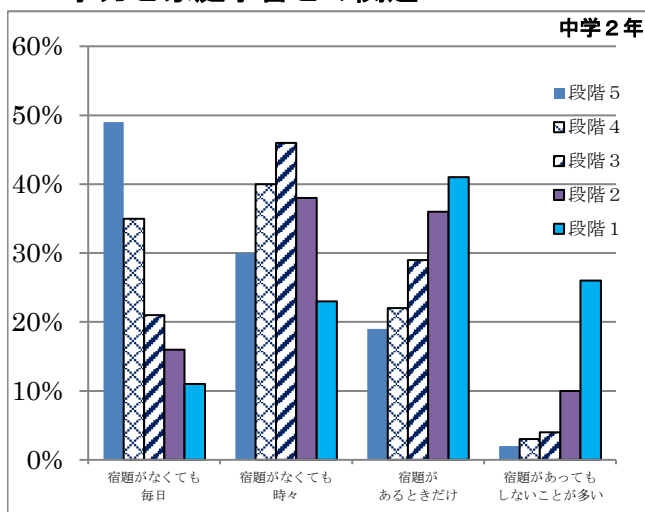
標準偏差により、段階5を成績上位群、段階2～4を成績中位群、段階1を成績下位群としている。



「成績上位群・中位群」と「成績下位群」では、学校生活の態度に大きな差がある

「成績上位群・中位群」と「成績下位群」では、学校生活の態度における肯定的回答率で差があり、上位群ほど学校での生活によく取り組んでいると答えている。特に「係活動」「時間を守る」「挑戦する」「協力する」が高い数値を示している。一方、「ほめられる」は、成績上位群に比べて、中位群・下位群が10ポイント以上低い数値となった。

## 5 学力と家庭学習との関連



「成績上位群」は家庭学習によく取り組んでいる

「成績上位群」は宿題がなくても毎日、「成績中位群」は時々家庭学習をしている生徒の割合が大きい。「成績下位群」では、宿題があってもしない生徒の割合が24%と懸念される数値である。また、「スマホの1日の使用時間」(別データ)によると、「成績下位群」は、1日に3時間以上使用しているという生徒が70%と高く、「成績上位群」は26%にとどまっている。